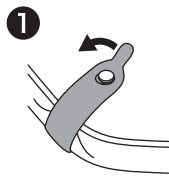


**重要!** 保護者の方へ

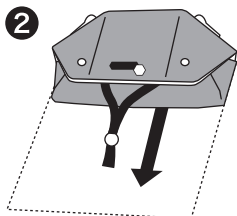
タタメットズキンをお子様がお使用になる場合は、保護者の方が取扱説明書をよくお読みいただき、誤った取り扱いをしないようにしてください。本書は、読み終わった後も大切に保管してください。

**かぶり方**

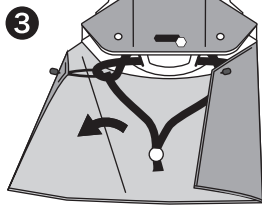
**1 防災ずきんをひろげる**



保管用ベルトの先端をつまみ、手前に引っばって外します。左右両側行います。

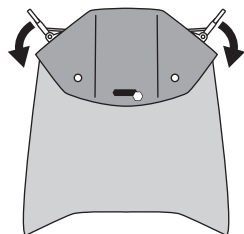


本体の中に収まっている防災ずきんをひろげます。



折ってある部分を左右にひろげます。左右両側行います。

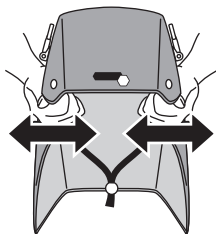
**2 本体をひろげる**



本体両側面にあるロックレバーを下にさげて、本体をひろげます。左右両側行います。

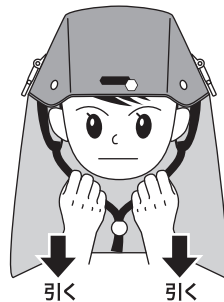
**POINT!**

長い時間たたんだ状態で保管されていた場合、または気温の低い所で保管されていた場合は帽体が硬く左右のロックレバーを下げる際に多少重くなる事があります。その際は帽体の左右を図のように持ち何度かひろげ、ヒンジ部をやわらかくしてからロックレバーを下げてください。



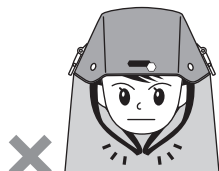
**4 頭にフィットさせる**

ヘッドバンドが頭にフィットするまであご紐を下に引きます。

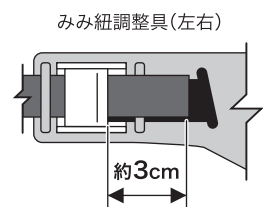


**重要!**

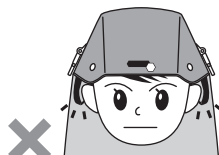
下図の様に、みみ紐の長さが極端な場合のみ、「みみ紐調整具」をご使用ください。



みみ紐下部があごの下に回ってしまう場合



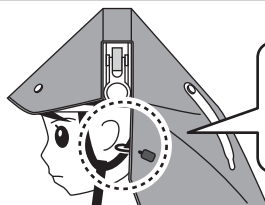
出荷時の長さは約3cm



みみ紐下部がみみに当たってしまう場合

**3 かぶる**

帽体が前後・左右に傾かないように深くかぶります。

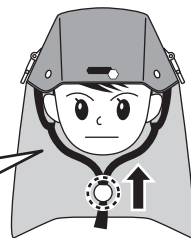


ずきん固定紐がみみの後ろ側にくるようにかぶります。

**5 あご紐をしめる**

あご紐の玉を適当な所まで引き上げます。

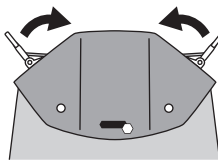
皮膚を挟み込まないように注意してください。



**しまい方**

**1 本体をたたむ**

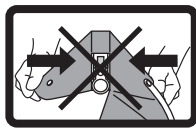
本体両側面にあるロックレバーを上げて本体をたたみます。左右両側行います。



**注意!**

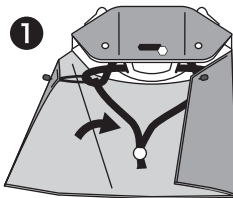


たたむ際、両側のロックレバーの上に指を置かないでください。ロックレバーを上げた反動で指を痛めることがあります。

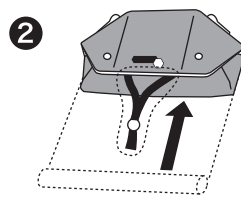


左右のロックレバーを操作せず無理にたたむと、部品が破損しケガをする可能性があります。

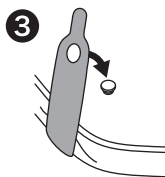
**2 防災ずきんをしまう**



左右両側を折り目にそってたたみます。



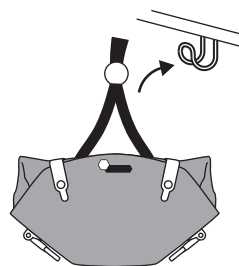
まるめながらしまします。あご紐は出したままにします。



保管用ベルトを本体のとめ具にひっかけるようにしてとめます。左右両側行います。

**保管の仕方(一例)**

あご紐を本体の外に出す事で、いろいろな所にかけて保管する事が出来ます。



机わきのフックにかける

販売元・問合せ先(「劣・検」ラベル黄色の場合)

株式会社イエロー

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町2-17-4-1F

Tel:03-6425-7720 Fax:03-6425-7721

mail:info\_1060@tatamet.com URL:http://www.zukin.jp

販売元・問合せ先(「劣・検」ラベル緑色の場合)

進和化学工業株式会社

〒370-1406 群馬県藤岡市浄法寺766-1

Tel:0274-52-5001(代) Fax:0274-52-4101

mail:shinwa.helmet@abelia.ocn.ne.jp URL:http://shinwakagaku.co.jp

# 「TATAMET ZUKIN / タタメツキン」取扱説明書(裏面も必ずお読みになってからご使用ください。)

## 重要! 保護者の方へ

タタメツキンをお子様がご使用になる場合は、保護者の方が取扱説明書をよくお読みいただき、誤った取り扱いをしないようにしてください。本書は、読み終わった後も大切に保管してください。

- この度は、タタメツキンをお買い上げいただき有り難うございます。本製品は、収納性や携帯性に重点を置いて設計・開発された折りたたみ式のヘルメット(保護帽)を、防災ずきんと一体化させた次世代型防災ずきんです。ご使用前に、この取扱説明書を必ず最後までよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- タタメツキンに内蔵されているヘルメット本体は、厚生労働省の「保護帽規格」に適合しており、型式検定合格品を示す「労・検」のラベルが貼付されています。「労・検」のラベルに記載されている「飛来・落下物用」とは、上方からの物体の飛来または落下による危険を防止あるいは軽減するためのものです。
- タタメツキンの内部には、発泡スチロールの衝撃吸収ライナーが装着されておりますが、「墜落時保護用」ではありませんので、高所作業には使用できません。
- 厚生労働省の「保護帽の規格」は、頭部の安全を確保するための最低限の基準を定めたものであり、保護性能には限界があります。従って、「労・検」のラベルは絶対的に安全性を保証するものではありません。最大限の注意を払いご使用ください。

## 警告! 誤った取り扱いにより、重大な障害に結びつく可能性のあるもの

※「保護帽」とは厚生労働省保護帽規格国家検定合格品であり、お買い求め頂きましたタタメツキンに内蔵のヘルメット本体が保護帽になります。



着用の際は、必ず両側のロックレバーが確実にロックされていることを確認してください。(正しくロックされていないと、本来の保護性能が発揮できません)

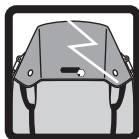


一度でも大きな衝撃を受けたら、外観に異常がなくても使用しないでください。(衝撃を受けた保護帽は性能が低下しているため、次に衝撃を受けたとき頭部を十分に保護することができません。)



あご紐は必ず正しく締めて着用してください。(事故又は、災害のとき保護帽が脱げて、頭部に重大な障害をうけます。)

裏面必ず参照!



構成される部品に異常が認められた場合には、直ちに交換をしてください。



使用期間

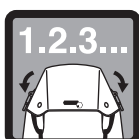
産業用保護帽につきましては、使用頻度から考え熱可塑性樹脂製(PC・PP・PE・ABS)等の保護帽は、異常が認められなくても3年以内が交換の目安となっておりますが、タタメツキンは、主に防災用(備蓄品)として開発された保護帽であることからその限りではございません。しかしながら保護帽は、樹脂製品であるため保管されていても劣化は進行します。使用頻度に関わらず、3~6年を交換の目安にしてください。



本製品を改造あるいは加工したり、部品を取り除かないでください。(各部品全体のバランスによる性能が発揮できず、頭部が保護できなくなります。)

## 注意! 誤った取り扱いにより、ケガや破損に結びつく可能性のあるもの

※「保護帽」とは厚生労働省保護帽規格国家検定合格品であり、お買い求め頂きましたタタメツキンに内蔵のヘルメット本体が保護帽になります。



ひろげる際やたたむ際は、必ず当社指定の方法で行ってください。

裏面必ず参照!



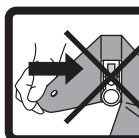
あご紐をしっかり引いてヘッドバンドの調整を行わないと、使用中にぐらついたり脱げやすくなり、保護性能が十分に発揮できません。

裏面必ず参照!



たたむ際、両側のロックレバーの上に指を置かないでください。ロックレバーを上げた反動で指を痛めることがあります。

裏面必ず参照!



左右のロックレバーを操作せず無理にたたむと、部品が破損しケガをする可能性があります。

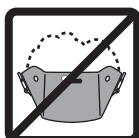
裏面必ず参照!



夏季の自動車内や暖房機の近く等のような50℃以上の高温になる場所や、直射日光のあたる場所に長時間放置しないでください。また、冬季の著しく低温になる場所に長時間放置しないでください。(材質が変質、変形を起こし、性能が低下します。)



メーカー指定以外の部品及び、付属品を取り付けしないでください。



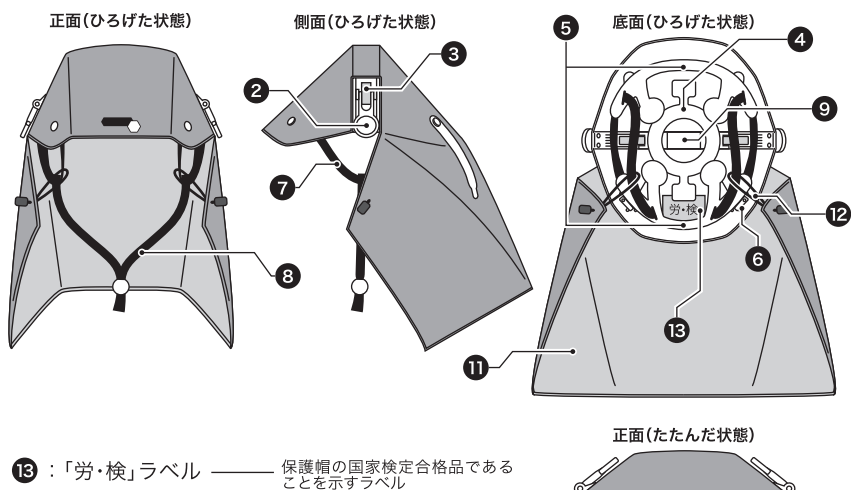
本製品に腰掛けたり、物を入れて運んだりしないでください。(保護帽が変形し、着装体、衝撃吸収ライナー、帽体等を傷つけ性能が低下します。)



本製品は、防災用に設計されています。自転車や原動機付き自転車を含むオートバイ等の乗車、ローラースケートや登山等の各種スポーツ等、他の用途に使用しないでください。(保護帽は乗車用ヘルメットとは設計、製造、性能試験などの方法が全く異なり別のものです。)

## 各部の名称と役割

- 1: 帽体 ———— 防災ずきんの内部で頭部を覆う、硬い殻体
- 2: ロックレバー ———— レバーを下げる事によって、ひろげた形状を保持する部品
- 3: ブリッジベルト ———— ロックレバーと連動し、ひろげた形状を保持する部品
- 4: ハンモック ———— 保護帽を頭部に保持し、当たりを良くして衝撃を緩和する部品
- 5: クイックアジャストヘッドバンド (前部・後部) ———— 前後から頭と帽体を最適なポジションでホルドし、ぐらつきを防ぐ部品
- 6: みみ紐調整具 ———— 絞りあご紐によるサイズ調整範囲で対応できない場合の調整具
- 7: みみ紐 ———— ヘッドバンドを調整し、保護帽の落下を防止する部品
- 8: 絞りあご紐 ———— あご紐の長さを調整し、保護帽の脱落を防止する部品
- 9: 衝撃吸収ライナー ———— 頭部への衝撃を吸収する部品
- 10: 保管用ベルト ———— たたんだ際の形体を保持する部品
- 11: 防災ずきん ———— 災害時火の粉等から頭部を守る防災布
- 12: ずきん固定紐 ———— 風圧等により、ずきんがめくれ上がるのをおさえる部品



## 製品仕様

- ◇頭のサイズ: 47cm~59cmまで対応
- ◇寸法: 立体時 W270mm H370mm D270mm / 収納時 W325mm H180mm D35mm
- ◇重量: 約415g(ヘルメット本体 約310g / 防災ずきん 約105g)
- ◇厚生労働省保護帽規格「飛来・落下物用」国家検定合格品(ヘルメット本体)
- ◇材質: ヘルメット-ポリプロピレン樹脂(PP) / ずきん-防災基布 ずきんに使用されている防災基布は、(財)日本防災協会の認定品です。
- ◇製造元: 進和化学工業株式会社 / 企画・デザイン・設計: 株式会社イエロー